

スポーツにおける暴力・暴言・ハラスメントで困っている 子どもたちのための相談窓口 Web サイトを開設！！

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための環境づくりを行う JSPO(正式名称:公益財団法人日本スポーツ協会 東京都新宿区/会長 伊藤雅俊)は、このたび、スポーツにおける暴力・暴言・ハラスメントで困っている子どもたちにも安心して利用しやすい相談窓口を目指し、子どもたちのための暴力行為等相談窓口 Web サイトを 7 月 22 日に開設しました。

子どもたちのための暴力行為等相談窓口の詳細はこちら▼

<https://www.japan-sports.or.jp/cleansport/tabid1363.html>

JSPO相談窓口ってなに？

専門相談員(弁護士)に直接、「無料」で相談ができます

- 👉 相談方法は「Web(相談フォーム)」「電話」「FAX」の3つから選べます
- 👉 「Web(相談フォーム)」「FAX」は24時間いつでも受け付けています
- 👉 『文書で説明しづらい』『今すぐ話を聞いてほしい』ときなどは電話相談がオススメです
- 👉 匿名での相談も可能です ※実際に処分手続きを行う場合は、実名をお知らせいただく必要があります
- 👉 『相談窓口の対象になるか分からない』『どこに相談してよいか分からない』などの事前相談や、『自分は被害者ではないが、不適切行為を目撃した』といったケースの相談でもOKです
- 👉 相談員は秘密を守りますので安心してご相談ください

JSPO スポーツにおける暴力行為等相談窓口(JSPO 相談窓口)

スポーツ界における暴力、暴言、ハラスメント等の不適切な行為の根絶に向けた取り組みの一環として、2013 年に JSPO『スポーツにおける暴力行為等相談窓口』を設置し、相談を受け付けております。

◆WEB によるご相談: <https://www.japan-sports.or.jp/cleansport/tabid1354.html> ※24 時間受付

◆電話によるご相談: 03-6910-5827 ※毎週(火)・(木) 13:00~17:00

◆FAX によるご相談: 03-6910-5820 ※24 時間受付

JSPO 相談窓口寄せられる暴力行為等の相談のうち、被害者の60%以上が小学生、中学生、高校生となっています(下図参照)。

また、相談者は保護者など大人が多数を占めますが、件数は少ないものの、被害を受けた子どもたち本人から相談を受けることもあります。

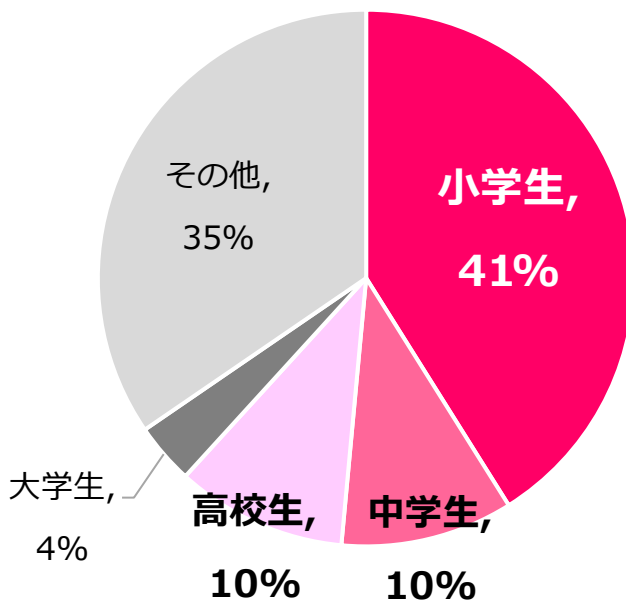


図.被害者区分内訳 (2014年~2021年)

JSPO 相談窓口では今後も、暴力、暴言、ハラスメント等で悩んでいる子どもたち本人が相談しやすい窓口運営と環境の整備に取り組んでいきます。


◆JSPO(公益財団法人日本スポーツ協会)について

JSPO は、1911年7月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018年4月1日、現在の名称となりました。

JSPO では、国民体育大会や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための幅広い事業を展開しています。また、わが国スポーツの統一組織として、国や60を超える競技団体、47都道府県スポーツ・体育協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

▶ ホームページ <https://www.japan-sports.or.jp/>

▶ 事業概要パンフレット <https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid57.html#09> (通読約15分)

 **JSPPO** スポーツと、望む未来へ。
Japan Sport Association

We support sport in Japan

JSPPO OFFICIAL PARTNER



大塚製薬



三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

LOTTE

セレスポ



日本文化出版



時事通信